



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月8日

上場会社名 昭光通商株式会社
コード番号 8090 URL <http://www.shoko.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 坂井 伸次
(氏名) 森田 聡

TEL 03-3459-5111

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	37,559	10.9	714	6.9	697	6.1	465	12.3
24年12月期第1四半期	33,869	△3.1	668	△5.0	656	△1.8	414	0.5

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 832百万円 (20.4%) 24年12月期第1四半期 691百万円 (101.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	4.25	—
24年12月期第1四半期	3.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第1四半期	63,264	16,571	25.9	149.81
24年12月期	55,391	16,195	29.1	147.31

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 16,408百万円 24年12月期 16,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	73,085	7.1	1,065	△7.3	1,120	△2.6	650	△5.1	5.92
通期	147,530	10.9	2,000	15.8	2,000	16.1	1,060	8.0	9.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、〔添付資料〕3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期1Q	112,714,687 株	24年12月期	112,714,687 株
25年12月期1Q	3,184,343 株	24年12月期	3,182,014 株
25年12月期1Q	109,531,384 株	24年12月期1Q	110,451,330 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引くデフレ傾向の中、経済政策への期待及び金融緩和政策により、株価上昇や円安基調を背景に輸出企業を中心に業績の改善が顕現化しつつあります。また、年度後半には、消費税引き上げ前の駆け込み需要が見込まれ、国内景気も緩やかに回復傾向が続くとみられます。

このような状況の中、当社グループでは、5ヵ年の中期経営計画の3年目として引き続き、「事業構造変革の推進」、「海外事業への更なる取り組み」及び「新規商材の拡充」等に積極的に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、375億59百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は7億14百万円（前年同期比6.9%増）、経常利益は6億97百万円（前年同期比6.1%増）、四半期純利益は4億65百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「合成樹脂」に含めておりました貿易事業の一部を、会社組織の変更に伴い、「情報電材その他」に報告セグメントを変更しております。

(化学品)

化学品部門につきましては、化学品関連は、酢酸エチルが国内品値上げ基調のなか、安価な中国品との価格競争により減収となりました。一方、酢酸ノルマルプロピル（NPAC）は、海外からの輸入品が円安による値上げや大手海外メーカーの定期修理の影響を受け減少したため、増収となりました。

科学システム関連は、カラムの販売が、官公庁及び民間企業の需要の減少に加え、円安による輸入品の販売の減少により、減収となりました。

肥料農材関連は、主力の肥料事業が順調に推移したことに加え、大型ハウスの受注があり、増収となりました。

以上の結果、売上高は83億24百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は2億29百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

(合成樹脂)

合成樹脂部門につきましては、輸入品は、円安の影響を受け合成樹脂原料価格が上昇し、販売が低調に推移しました。一方、国内取引につきましては、ナフサ市況高騰の影響を受け、合成樹脂原料の価格が上昇したため、増益となりました。また、開発分野につきましては、高機能性樹脂事業の開拓に引き続き注力しており、成果が顕現しつつあります。

以上の結果、売上高は94億54百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は56百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

(金属)

金属部門につきましては、軽金属関連は、昨年引き続き需要家の減産等により軽圧品、アルミ箔等の販売が減少し、減収となりましたが、当第1四半期連結累計期間に昭和電工アルミ販売株式会社の株式を65%取得し、連結の範囲となり、ポール事業の製販一体化が実現したこと等により増収となりました。

無機材料関連は、レアアースは、液晶ガラス向け研磨材原料の販売が見込まれたものの需要家の在庫調整により、販売が低調に推移しました。磁石向け重稀土原料につきましても磁石メーカーが保有する在庫が、支給材として合金メーカーに流れ、販売が減少となりました。また、電極は、電炉市場の冷え込みにより荷動きが芳しくなく減収となりました。

以上の結果、売上高は79億22百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は1億24百万円（前年同期比81.1%増）となりました。

(生活環境)

生活環境部門につきましては、住宅建材関連は、鋳鉄管が東北地区の入札が不調であったものの、昨年に引き続き主力の固定柱脚（商品名：ジャストベース）が大型物件の受注等により、好調に推移しほぼ前年並みとなりました。ポールは、営業機能を昭和電工アルミ販売株式会社に移管したことにより、減益となりました。

食品関連は、主力のリンゴ酸が好調に推移しました。また、カラーゲン（東日本大震災の影響により昨年まで供給が停止状態にありましたが、当第1四半期連結累計期間に設備が回復し、供給が再開したことで販売が増加し、増収となりました。

以上の結果、売上高35億10百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は1億24百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

(情報電材その他)

情報電材その他部門につきましては、エレクトロニクス関連は、引き続き液晶TVの販売不振からLED需要が低調であり、その影響でLED、サファイアインゴットの販売が減少し、減収となりました。

その他事業では、昭光通商(上海)有限公司の鉄鋼原料ほか海外関連事業が昨年に引き続き好調に推移し、増収となりました。

以上の結果、売上高は83億45百万円(前年同期比74.4%増)、営業利益は1億75百万円(前年同期比43.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、632億64百万円(前連結会計年度末比14.2%増)となりました。これは、「受取手形及び売掛金」が増加したことが主因であります。

負債は、466億93百万円(前連結会計年度末比19.1%増)となりました。これは、「短期借入金」が増加したことが主因であります。

純資産は、165億71百万円(前連結会計年度末比2.3%増)となりました。これは、「その他有価証券評価差額金」及び「為替換算調整勘定」が増加したことが主因であります。

この結果、自己資本比率は3.2ポイント下降して25.9%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想は、平成25年2月8日に公表しました「平成24年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、親会社である昭和電工株式会社の減価償却方法の変更を契機として有形固定資産の使用実態を見直した結果、当社及び国内連結子会社の事業における有形固定資産は、耐用年数にわたり安定的に利用しており、費用を均等に計上する定額法が当社及び国内連結子会社の企業活動をより適切に反映する減価償却方法であると判断したことによるものであります。

これにより、従来の方法によった場合と比較して、当第1四半期連結累計期間の減価償却費の減少額は軽微であり、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,470	2,255
受取手形及び売掛金	35,480	45,337
商品及び製品	2,564	2,883
販売用不動産	12	12
仕掛品	135	113
原材料及び貯蔵品	306	361
その他	2,091	1,508
貸倒引当金	△113	△145
流動資産合計	44,949	52,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,561	1,603
機械装置及び運搬具(純額)	120	149
土地	4,900	5,008
その他(純額)	82	101
有形固定資産合計	6,664	6,863
無形固定資産		
のれん	41	37
その他	265	281
無形固定資産合計	307	319
投資その他の資産		
投資有価証券	2,501	2,703
長期貸付金	11	11
繰延税金資産	168	205
その他	897	944
貸倒引当金	△108	△110
投資その他の資産合計	3,470	3,754
固定資産合計	10,442	10,936
資産合計	55,391	63,264

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,639	32,945
短期借入金	839	6,242
未払法人税等	386	311
賞与引当金	152	367
その他	1,872	1,480
流動負債合計	33,890	41,347
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付引当金	822	843
その他	2,483	2,501
固定負債合計	5,305	5,345
負債合計	39,195	46,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,021	8,021
資本剰余金	0	0
利益剰余金	7,214	7,155
自己株式	△465	△465
株主資本合計	14,770	14,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	480
繰延ヘッジ損益	0	2
土地再評価差額金	839	839
為替換算調整勘定	206	374
その他の包括利益累計額合計	1,364	1,696
少数株主持分	60	162
純資産合計	16,195	16,571
負債純資産合計	55,391	63,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	33,869	37,559
売上原価	31,482	34,914
売上総利益	2,387	2,644
販売費及び一般管理費	1,719	1,930
営業利益	668	714
営業外収益		
受取利息	14	5
受取配当金	11	6
持分法による投資利益	0	5
雑収入	8	6
営業外収益合計	35	24
営業外費用		
支払利息	26	24
為替差損	9	3
雑損失	10	12
営業外費用合計	46	41
経常利益	656	697
特別利益		
負ののれん発生益	—	85
受取損害賠償金	67	—
特別利益合計	67	85
特別損失		
投資有価証券評価損	—	50
契約等解除損失	42	—
その他	0	0
特別損失合計	42	50
税金等調整前四半期純利益	681	732
法人税、住民税及び事業税	332	316
法人税等調整額	△72	△77
法人税等合計	260	238
少数株主損益調整前四半期純利益	421	493
少数株主利益	7	28
四半期純利益	414	465

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	421	493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173	170
繰延ヘッジ損益	3	2
為替換算調整勘定	92	166
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	270	339
四半期包括利益	691	832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	682	797
少数株主に係る四半期包括利益	9	35

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂	金属	生活環境	情報電材 その他	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,257	10,018	7,342	3,465	4,785	33,869	—	33,869
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	4	0	2	65	87	△87	—
計	8,271	10,023	7,342	3,467	4,851	33,956	△87	33,869
セグメント利益	293	49	68	135	122	668	△0	668

(注) セグメント利益の調整額△0百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	化学品	合成樹脂 (注2)	金属	生活環境	情報電材 その他 (注2)	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,324	9,454	7,922	3,510	8,345	37,559	—	37,559
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	4	247	2	161	431	△431	—
計	8,341	9,458	8,170	3,513	8,507	37,990	△431	37,559
セグメント利益	229	56	124	124	175	711	3	714

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 当第1四半期連結会計期間より、従来「合成樹脂」に含めておりました貿易事業の一部を、会社組織の変更に伴い、「情報電材その他」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。